市公式ＳＮＳでも市内のできごとやイベント、まちの風景などを配信しています！ぜひ登録をよろしくお願いします！

まちのできごとを写真とともにご紹介

まちフォト

双葉の市～秋場所～

新年に向け食と飾りで準備万端！

１２月４日㈰、双葉の市～秋場所～が双葉の里で開催されました。あいにくの天気でしたが、フリーマーケットはにぎわい、天津勝ち栗のふるまいや人気のキッチンカー、長洲浜の市から赤貝や水産加工品の販売、宇佐長洲サワラＣＬＵＢによる宇佐はちまんサワラ丼の限定販売もされ、来場者は旬の食材の料理に舌鼓を打っていました。また、しめ縄づくり体験では、新年に向け立派なしめ縄を作り上げていました。

広崎哲也監督が豊川こども園訪問

園児から広崎監督へパワーお届け

１２月１５日㈭、市を舞台にした映画『ＭＡＤＥ　ＩＮ　ＵＳＡ』を手掛ける広崎哲也監督が、通っていた豊川こども園を訪問し、園児とともに給食や園庭での時間を楽しみました。広崎監督が幼少期を過ごした園として、少しでも力になりたいとの思いから職員全員による寄付の贈呈と園児のかわいい笑顔の応援もありました。

映画は、５月から出演者のメイン撮影が行われ、８月下旬に完成する予定です。

鷹栖観音 鬼会

漆黒の闇に浮かび上がる伝統の炎

１月４日㈬、疫病を払い飢饉を救うために奈良時代に始まったとされる市無形民俗文化財「鬼会」が鷹栖観音堂周辺で行われました。締め込み姿や法被姿の男女が、２ｍほどのたいまつを担いで、いてつくような駅館川に腰までつかりながら渡りました。鷹栖観音堂で参拝し、高さ約１０ｍのどんどに点火した後、赤鬼と青鬼の二手に分かれて、たいまつを打ち合いました。火の粉が飛び散る中、無病息災や五穀豊穣を祈願しました。僧侶の読経やたいまつの爆ぜる音も合わさり、幻想的で勇壮なお祭りに参拝客は魅了されていました。

疫病退散！
今年一年無事に過ごせますように

今回はこちら！

広報うさ×リアルTOWNうさ

広報うさは「リアルTOWNうさ」と連携し、広報紙の記事に掲載しきれなかった写真やその他の情報をお伝えします。ぜひ、ご覧ください♪

遠隔操作ロボットアバター「newme（ニューミー）」の操作体験会

ロボットアバターを身近に感じよう

12月26日㈪、27日㈫、ゆめマート宇佐店でアバターの操作体験会が開催されました。この取り組みは、ＩＣＴを利活用した社会的課題の解決に向けた実証実験です。参加者は、パソコンにロボット操作を入力し、アバターを遠隔で動かす楽しさを知り、日常生活で活用できることを体感していました。今後、この実証実験の結果をもとに、店舗での人材不足解消など効率的な働き方に対応した検証を行っていきます。

宇佐小唄を踊る会＆尺八コラボ 宇佐神宮新春奉納踊り

初詣に宇佐小唄を踊ってホッコリ気分

1月3日㈫、新春の陽光の中、宇佐神宮上宮の西中門（さいちゅうもん）広場で、尺八の生演奏を交えて宇佐小唄の踊りが奉納されました。宇佐小唄を踊る会の並松吉昭会長が「宇佐小唄は宇佐神宮の四季の情景を唄ったものです。お正月に皆さまも一緒に踊りましょう」と参拝客に呼びかけ、踊りの参加者にお年玉として宇佐飴を配布しました。参加者は「踊りが難しかったけど楽しかった。よい一年になりそう」と笑顔で話しました。

院内ゆず de 冬至ゆず湯の日

ゆず湯で心も体もリフレッシュ

12月16日㈮～22日㈭、大分空港1階の足湯スペースで、院内ゆずを使った冬至ゆず湯が開催されました。ゆず湯には、いい香りでリラックスさせ、体を芯から温めて免疫力を高める効果があるといわれています。このイベントは院内町特産のゆずを幅広くＰＲし、1年の疲れを癒してもらおうと企画されました。利用客は、爽やかな香りに満ちた湯船に足をつけ、冬至ゆずの足湯を楽しんでいました。

茶道裏千家前家元 千玄室さん講演会

若い世代に伝える平和へのあり方

12月20日㈫、市内の高校生約800人を前に裏千家前家元 千玄室（せんげんしつ）さんが自身の戦争体験から平和への理解を訴えました。特攻隊員であった千さんは、出撃することなく終戦を迎えましたが、同期生は宇佐海軍航空隊から出撃し戦死しました。「じくじたる思いで亡くなった戦友たちを思い浮かべる。まずは身の回りの人に良心を向けて。平和という言葉を使わなくてもよい世の中は自分たちの足元から」と語りました。